

第1回～第3回「授乳室 JIS 図記号に関する委員会(勉強会)」での
検討内容のまとめ及び今後の方針(事務局案)

- 第1回～3回の主なコメント内容を表中に記載。
- 今後の方針(事務局案)を「→」の後に記載。

・【授乳室図記号の検討目的、現状の課題】

- ・ 女性が安心して母乳による授乳ができるためにはどうしたらよいのかを、検討していただきたい。
- ・ 国交省の「女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等の環境整備・利用のあり方に関する協議会」の中の調査で、母乳で育てている人は、母乳で授乳する場所がないから外出したくない、と言う人がかなり多い結果が出ている。
- ・ 母乳で授乳できる場所が明確になれば、母乳育児をする女性や、イクメンの外出機会も増やせるのではないか。
- ・ 図記号の目的は「安心して授乳ができる」というのが最大公約数の目標なので、それを目指して議論すべき。
- ・ 授乳室は女性しか入れないものだと思っている方がおり、男性が入ると白い目で見られる。
- ・ 男性も入れますと書いてあれば堂々と入るが、入れるかどうか分からないのが困る。

⇒ JIS 図記号の定義には、女性用の「個室/共用スペース」の有無、男性も入れる「個室/共用スペース」の有無を明確に示すことが重要。

(注1)以降、プライバシーが確保されたスペースを「個室」、複数人で使用されるスペースを「共用スペース」と定義する。

(注2)ただし、表中の文言は議事録を抜粋したものであり、必ずしも上記の定義に沿ったものではない。

【鍵について】

- ・ 個室を鍵付にするかどうかは、施設側の問題。
- ・ 個室自体・共用スペース自体に、施錠できるかどうかという意味をもたせるのは適切ではない。
- ・ 鍵付だと上の子供を閉めだしになってしまう可能性がある。
- ・ 男女が入れるところであれば、鍵がないと不安になるので、鍵があるべき。
- ・ 鍵がある方がよいかどうかは、場所によりけり。
- ・ ピクト自体に鍵をつけてしまうと、定義自体に鍵という条件が入ってしまい、鍵付でないアコーディオンの場合に使えなくなってしまう。鍵はピクトでなく、補助表示(文字など)の方がよいのでは。

⇒ 鍵の有無については、JIS 図記号の定義に含めないこととする。

【個室か、共用スペースか】

- ・ 一番重要なのは、母乳で授乳しているときに男性が入ってこないこと。個室にこだわる必要はない。
- ・ 母乳の女性への配慮は必要だが、人工乳の女性や男性で授乳しなければならない人のことも考え、個室を表す方がよい。
- ・ ミニマムな授乳室は男性が入れないと困るという現状はあるが、それ以外の個室／共用スペースは「女性」を定義に入れた方が分かりやすい。

⇒ 個室、共用スペースを問わない JIS 図記号を検討する。

【表示場所】

- ・ 館内や駅の誘導サインで載せるべきか。
- ・ 遠くから見る前提で考える必要がある。
- ・ 現在施設では、サインの数を減らす方向。
- ・ トイレの表示の場合は、建物入口等ではトイレがあることしか分からず、その前まで行って初めて分散の機能(車椅子、おむつ交換台等)があることが分かるようになっている。

⇒ 図記号の表示場所を含めて、授乳室に必要な設備、授乳室の具体的な仕様などについては、「国交省ガイドライン」※に記載されており、JIS 図記号の定義には含めないこととする。施設管理者が「国交省ガイドライン」と整合性を取りながら定めるものとする。

※ 高齢者、障害者等の円滑な移動等配慮した建築設計標準

【表示事項・定義】

- ・ 第3回勉強会で提示した表示事項及び定義案は次の通り。
表示事項： 授乳用個室（代案：授乳ブースなど）
機能： 安心して授乳できる設備を表示
- ・ これに対し、「個室に限定する必要はないのではないか」「女性が安心できることが大切なので、『女性』を定義に入れた方がよいのではないか」という意見が出て、事務局で再度検討することとなった。

⇒ その結果として、「授乳室 JIS 図記号の表示事項及び定義」(事務局案)を、資料4として提案する。